

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年6月7日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部経営学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ジョージア大学 現地言語: University of Georgia
留学期間	2021年8月～2022年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年5月11日
明治大学卒業予定年	2024年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～12月中旬 2学期:1月中旬～5月初旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約37000人
創立年	1785年

留学費用項目	現地通貨 ( )	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	6271	円	
食費	4036	円	
図書費	300	円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	360	円	毎月30ドル×12
現地交通費	230	円	自動的に引き落とされる transportatuon fee ( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	412	円	student facilities fee, activity fee, athletic feeの総計
被服費	800	円	ほぼ現地調達だったため
医療費	0	円	
保険費	2417	円	形態:
渡航旅費	2260	300000円	
ビザ申請費	50	円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	<b>16893</b>	<b>2243,728円</b>	

## 渡航関連

<b>渡航経路</b>
往路 出発地:羽田空港 目的地:アトランタ空港 経由地: 復路 出発地:アトランタ空港 目的地:羽田空港 経由地:ロサンゼルス空港
<b>渡航費用</b>
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:デルタ 料金:約 23 万円  復路 航空会社:アメリカン航空、JAL 料金:約 7 万円 ∴合計:約 30 万円
<b>航空券購入方法</b>
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: _____) <input type="checkbox"/> その他( _____)
<b>滞在形態関連</b>
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:brown hall, vandiver hall) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
大角からの斡旋
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<b>現地情報</b>
1)留学期間中, 病気やケガをしましたか。した場合, どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)
2)留学期間中, 学内外で問題はありましたか。あった場合, 誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し, どのような防犯対策をしましたか。また, 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
大学からアラートのメールが送られてくる
4)携帯電話や, インターネットについて, 現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので, 寮で使用できない時はカフェに行った。)
どこでも wifi が繋がった
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また, クレジットカードも併用していた。)
バンクオブアメリカの口座開設と, クレジットカード決済
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) ・履修の制限はありましたか？	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Housing contemporary society	
科目設置学部・研究科	Financial planning, housing and consumer economics
履修期間	fall2021
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Kim Skobba
授業内容	Present-day family housing needs from the standpoint of health, safety, environment, finance, ownership, types of dwellings, and minimum standards. Basic terms and concepts to establish a foundation for other Housing and Consumer Economics housing classes.
試験・課題など	毎週の課題提出
感想を自由記入	対面授業でうけたかったと思うくらい内容が充実していた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultural Geography of the US	
科目設置学部・研究科	geography
履修期間	fall2021
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Joshua Barkan
授業内容	Introduces cultural geography as a field of analysis concerned with the interactions between meaning, space, and social power. Examines cultural objects, including literature, music, films, and architecture to explore the diverse meanings, experiences, and social conflicts shaping places, regions, and spatial processes in the United States.
試験・課題など	最終レポート提出に向けて、5 回ほど小レポート提出
感想を自由記入	アメリカでアメリカの歴史を学べるよい機会だったが、リーディングの量が多かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Design and the Environment			
科目設置学部・研究科	Land scape architecture		
履修期間	Fall 2021		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	The built environment and its effects on natural systems. Focus is on the design of the built environment as an ongoing activity integrating ecological, social, and cultural values. Topics include land use patterns and policies, development and resource management, community design issues, and strategies for improving environmental integrity and quality of life.		
試験・課題など	中間試験、期末試験、その他毎週小テストもしくは課題		
感想を自由記入	授業規模は大きかったが、毎週の課題が能動的に学べる内容で興味深かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Real estate			
科目設置学部・研究科	Terry college of business		
履修期間	Fall 2021		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Ryan B. Diettz		
授業内容	Real estate law, markets, valuation, and finance. Designed for non-real estate majors as well as a basis for more advanced courses.		
試験・課題など	4 回の定期試験		
感想を自由記入	各テストの 1,2 週間前から勉強をはじめても満足いく点数が取れない時もあった。4000 番台のクラスはこれひとつだけにしておいてよかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Economic Development of U.S.		
科目設置学部・研究科	terry college of business	
履修期間	spring2022	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Dr. Rudbeck	
授業内容	The United States' growth and transformation into an industrialized nation, exploring the contributions of diverse cultural groups. The rise of the corporation, slavery, government regulation, banking, transportation, the economic role of women and minorities, the Great Depression, and rapid post-World War II growth.	
試験・課題など	定期試験 3 回	
感想を自由記入	板書をひたすらうつす授業形式	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
introduction to consumer economics		
科目設置学部・研究科	Financial planning, housing and consumer economics	
履修期間	spring2022	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Hofner Rusiana	
授業内容	Focusing on the family as a producing and consuming unit, this course covers issues consumers face in different life stages and decision-making processes and tools. Emphasis on interrelationships among decisions and links between economic and social issues. Provides a history of consumer economics, consumer protection, consumer protection agencies, and consumer policy	
試験・課題など	7 回の試験と期末試験	
感想を自由記入	ゼミで消費者行動について学んでいたの で 履修した。試験は open note だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Human Geography			
科目設置学部・研究科	Geography		
履修期間	Spring2022		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Stan Hopkins		
授業内容	Essential concepts include the interconnectedness of people and places, interactions between society, culture, and nature and the relationships between development, difference, and inequality. Topics may include population dynamics, cultural differences and identity, urbanization, globalization, geographies of power, natural and built human environments, food systems and agricultural geographies, and economic development.		
試験・課題など	試験 6 回		
感想を自由記入	すべて open note なので負担は少ない		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
introduction to travel and tourism			
科目設置学部・研究科	Parks, recreation and tourism management		
履修期間	Spring2022		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンライン(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	B. Bynum Boley		
授業内容	A survey of travel and tourism in a global context. Students will become acquainted with the economic, socio-cultural, demographic, and environmental impacts that tourism has on the world community. Special emphasis will be placed on issues faced by tourism developers in businesses and governments of all sizes		
試験・課題など	2週間に一回のテストと word15 ページ分の最終課題		
感想を自由記入	word15 ページは経験したことがなく、苦勞した		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Fundamental of fashion merchandising	
科目設置学部・研究科	Textiles, merchandising and interiors
履修期間	Spring 2022
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、ディスカッション (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Kristian Hogans
授業内容	Introduction to the trends and influence of fashion in society and review of the international and domestic fashion resources. Identifies the various product categories in fashion merchandising and discusses the innovative processes that sustain the fashion business. Analysis of how fashion is conceived, marketed, and sold.
試験・課題など	carrer path project(動画作成)、ディスカッション、中間・期末試験
感想を自由記入	kiva process というディスカッションのスタイルが面白かった。社会問題に対して自分の意見を毎回発表または提出する機会があり、大変だが日本んではあまりできない能動的な学びができた。

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。 (内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。 外資メーカー、日経メーカー、不動産業界を志望している
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 留学経験を踏まえてさらに、海外赴任できる仕事につきたいと強く思うようになった。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	TOEFL 勉強
	4月～7月	TOEFL 受験
	8月～9月	
	10月～12月	学内選考など
留学開始年	1月～3月	英語の勉強
	4月～7月	ビザ申請、application、航空券購入、予防接種
	8月～9月	留学
	10月～12月	留学
留学/帰国年	1月～3月	留学
	4月～7月	留学、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

### 留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

UGA は大学の規模が大きい割りに留学生が少なく、サポートも手厚くしっかりしています。田舎で車がないと不便な環境ではありますが、旅行では絶対に訪れない土地なので留学ならではの経験ができたと思っています。現地学生はよく学び、よく遊びます。日本の大学受験時並みに勉強する日もありますが、思いっきり遊ぶ日もあります。よく切り替えられていると感じました。留学前も旅行で何度かアメリカには行ったことがありましたが UGA に留学して真のアメリカを経験できたので、これから留学を志望する方で自分の学びたいことと一致するなら、UGA はぜひおすすめしたいです。